

令和6年度 仙台市立山田中学校

各教科シラバス 1学年

☆シラバス (Syllabus) について☆

1 「シラバス (Syllabus)」とは

シラバスという言葉は、ギリシャ語のSittuba(羊皮紙でできた書籍ラベル)からきています。シラバスには1年間(もしくは3年間)の授業の内容、学習方法、成績評価の方針等が記載されています。

2 「シラバス (Syllabus)」の目的

1年間(もしくは3年間)の授業の流れを見通せるよう、次のような目的で作成しました。よく読んで、毎日の学習に役立ててほしいと思います。

- ①必要な情報を提供することで、計画的な学習を支援します。
- ②学習内容を事前に知らせることで、積極的な授業参加を促します。
- ③自ら学習計画を立てやすくします。

3 保護者の皆様へ

シラバスを作成することにより生徒の皆さんはもとより、保護者の皆様にも本校の各教科の学習内容、学習(授業)の進め方、評価といったことについて御理解いただき、毎日の学習を進めるための指針にしてほしいと考えています。

特に保護者の皆様には以下の点を御理解いただきたいと思います。

- ①生徒の皆さんと保護者の皆様、学校の三者が学習内容を把握すること
 - ②授業やその評価に関する情報を共有すること
- ぜひ、御覧いただいて、役立ててほしいと思います。

4 その他

学校行事等、諸事情により年間計画を変更して授業を進める場合があります。その際は生徒に連絡をしますので、御了承ください。

第1学年 教科【国語】

○学習目標「豊かな言語感覚を身に付ける」

「話す・聞く」「書く」「読む」「ことば」国語の基礎・基本を身に付ける。

○学習の進め方と学習内容・学習のポイント

[学校] ・自ら学ぶ意欲を持ち、授業中の活動・課題に積極的に取り組むこと。

・板書事項をノートに丁寧に写すだけでなく、質問・課題に対する自分の考え・意見をまとめること。

[家庭] ・すらすらと読めるまで、教科書の音読に繰り返し取り組む。(国語の力の土台になります)

・宿題にきちんと取り組む。漢字の練習や語句の意味調べなども積極的に行う。

・日ごろからさまざまなジャンルの本を読み、読解力を付ける。

・定期考査前には、教科書やノートなどを見直し、ワークやプリントの問題に何度も取り組む。

月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	・朝のリレー ・野原はうたう	・気持ち伝わるように、工夫して朗読する。
	・声を届ける、書き留める、言葉を調べる	・国語学習の基本となる事柄を理解する。
5	・シンシュン	・場面の展開に着目して読み、登場人物の心情や関係の変化を捉える。
	・情報を的確に聞き取る	・効果的なメモの取り方について理解する。
	・情報を整理して書こう	・情報を集め、整理し、わかりやすく伝えるために、構成を工夫して書く。
6	・ダイコンは大きな根?	・段落の役割に着目して文章を読む。
	・ちょっと立ち止まって	・文章の構成に着目して読む。
	・好きなものをスピーチで紹介する	・聞き手にとってわかりやすく、魅力的なスピーチをする。
	・言葉のまとまりを考えよう	・言葉の単位について理解する。
7	・情報を集めよう、読み取ろう、引用しよう	・グラフの種類や特徴、情報を読み取る方法を理解し、情報の適切な引用のしかたを考える。
	・詩の世界	・筆者の考え方やものの見方、詩の分類、表現の特徴を理解する。
8	・比喩で広がる言葉の世界	・比喩について理解し、言葉についての考えを深める。
9	・指示する語句と接続する語句	・指示する語句や接続する語句について理解する。
	・もっと「伝わる」表現を目指して	・読み手が、そのよさや様子を具体的に想像できるように、言葉の選び方を工夫して書く。
10	・大人になれなかった弟たちに…	・人物の行動や情景描写から心情を読み取る。
	・星の花が降るころに	・場面展開に着目して、人物の変化を読み取る。
10	・案内文を書く	・情報を整理し、順序や表現を工夫して案内文を書く。
	・方言と共通語	・方言と共通語の違いを理解する。
	・「言葉」をもつ鳥、シジウカラ	・事実と意見の関係を読み取る。
	・資料を引用してレポートを書く	・さまざまな情報を整理し、根拠を明らかにして、説得力のある文章を書く。
11	・グループ・ディスカッションをする	・話題や展開を捉えながら話し合い、考えをまとめる。
	・大阿蘇	・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
	・いろは歌	・文語のきまりや訓読のしかたを知り、七五調のリズムを味わい音読する。
	・蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から	・古文の表現に注意して場面の展開や心情の変化などを捉える。
12	・今に生きる言葉	・故事を繰り返し音読し、漢文の言い回しに読み慣れ、体験文を書く。
	・「不便」の価値を見つめ直す	・筆者の考えを要約し、根拠を明確にして、意見をまとめる。
	・作品の書評を書く	・作品の内容や魅力を分析し、観点を決め、書評を書く。
	・言葉の関係を考えよう	・単語の類別について理解する。
1	・書きぞめ練習	・行書の特徴を捉え、字形を整えて書く。
	・少年の日の思い出	・作品の展開を捉え、「僕」の心情の変化をまとめる。
2	・単語の性質を見つけよう	・品詞や体言・用言の区別を理解する。
	・随筆二編	・語句や表現の工夫に着目して読み、筆者の考えや思いを捉える。
	・体験を基に随筆を書く	・言葉を吟味して選び、体験や思いを伝える文を書く。
3	・さまざまな表現技法	・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解する。
	・一年間の学びを振り返ろう	・観点を決めて、一年間の学習を振り返る。

《評価の観点》・言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、言語文化について、その特質を理解し適切に使っている。

・話すこと・聞くこと、書くこと、読むことについて、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使うとしている。

《評価の方法》授業中の学習活動、定期考査、小テスト、提出課題の内容

第1学年 教科【社会】

○学習目標

- ・世界や日本の地理的事象に関心を持ち、世界の諸地域の特色を理解し、世界との比較・関連の中から、我が国の地理的特色を理解・考察・判断できるようにする。
- ・歴史的事象に関心を持ち、時代の特色を踏まえながら、世界の歴史を背景に我が国の歴史の大きな流れを理解・考察・判断できるようにする。
- ・社会的事象を多面的・多角的に考察するための調べ方や学び方の基本を身に付け、未来社会の形成者としての資質の向上をはかる。

○学習の進め方と学習内容・学習のポイント

- [授業前日] … 教科書を読んでおく和良好的。小テストがある日は、その勉強をしよう。
- [授業] … 積極的に挙手をして発言をしよう。疑問点はその日のうちに解決すること。
- [授業当日] … 学習内容を振り返り、復習に取り組む。
- [週末] … ワーク(『社会の自主学習』)に取り組み、今週の自分の理解度を確認する。
(1回やって終わりではなく、できるようになるまで繰り返すことが大切です)
- [その他] … テレビや新聞のニュースにふれ、今、世の中で何が起きているのかに関心をもとう。

学期	学習内容(単元・領域)	学習のポイント(ねらい)
1 学 期	【歴史】(教科書 P1 ～ P57) 第1部 歴史のとらえ方と調べ方 第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり 第1章 古代国家の成立と東アジア 第1節 人類の登場から文明の発生へ 第2節 東アジアの中の倭(日本) 第3節 中国にならった国家づくり 第4節 展開する天皇・貴族の政治	【歴史】 ◇時代区分や年代の表し方を理解し、時代の大きな移り変わりを捉える。 ◇狩猟・採集を行っていた人類が、農耕・牧畜の始まりとともに生活様式や社会構造を変化させていったことを理解する。 ◇世界各地で文明が起り、東アジアの文明の影響を受けながら、我が国で国家が形成されていったことを理解する。 ◇大陸の文化や制度を取り入れながら国家の仕組みが整えられ、天皇や貴族の政治が展開したことを理解する。
	【地理】(教科書 P1 ～ P46) 第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿 第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	【地理】 ◇地球の様子を地球儀や世界地図を活用して捉え、地球上の位置の表し方や球面上の位置関係を捉える技能や知識を身に付ける。 ◇世界各地の人々の生活のようすとその特徴について、自然及び社会的条件と関連づけて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。
	【歴史】(教科書 P58 ～ P93) 第2章 武家政権の成長と東アジア 第1節 武士の世の始まり 第2節 武家政権の内と外 第3節 人々の結びつきが強まる社会	【歴史】 ◇武士が台頭し、主従の結びつきや武力を背景に東国に武家政権が成立したことなど、古代から中世への転換のようすを、自分の言葉で表現できるようにする。 ◇蒙古襲来(元寇)、日明貿易、琉球の国際的な役割などを通して、東アジア世界との密接な関わりやそれが国内に及ぼした影響などに気付く。
	【地理】(教科書 P47 ～ P129) 第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州 第2節 ヨーロッパ州 第3節 アフリカ州 第4節 北アメリカ州 第5節 南アメリカ州 第6節 オセアニア州	【地理】 ◇世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取りあげ、それをもとにした主題を設定して、それぞれの州が持つ地域的な特色を理解する。
2 学 期	【歴史】(教科書 P94 ～ P111) 第3章 武家政権の展開と世界の動き 第1節 大航海によって結びつく世界 第2節 戦乱から全国統一へ	【歴史】 ◇ポルトガルやスペインによる「新航路の開拓」が我が国の歴史に与えた影響について理解する。 ◇織田信長や豊臣秀吉によって全国が統一され、近世社会の基礎がつけられていったことを理解する。

《評価の観点》

- ・世界の諸地域や世界の中における日本の特色を理解し、諸資料を効果的に活用してまとめることができる。
- ・社会的事象に関して多面的・多角的に理解・考察し、諸課題に対して思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる。
- ・未来の社会の担い手として、社会的課題の解決を主体的に追求・探求し、よりよい社会の実現を目指して学習に取り組もうとしている。

《評価の方法》

- ・定期考査(観点別に問題を作成)や『小テスト』の結果、ワーク(『社会の自主学習』)などの提出物、授業中の発言や授業(『ワークシート』)への取組、授業内課題を総合的に評価する。

第1学年 教科【数学】

○ 学習目標 ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し,数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 ・数学を活用して事象を論理的に考察し,簡潔・的確に表現する力を養う。		
○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント [学校] ・先生の説明や問いかけに集中し,発言を積極的にすること。 ・黒板の板書事項や先生の説明におけるポイントをノートに丁寧にまとめること。 [家庭] ・その日に習った内容について,教科書の問題や問題集を利用してその日のうちに練習する。 ・定期考査前には,教科書の問題や数学の問題集を復習でもう一度解く。(最低2度やる)		
月	学習すること(単元・領域)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	【1学期】0. 整数の性質	・素数の意味を理解し,自然数を素因数分解できるようにする。また,素因数分解の結果を利用することで,整数の約数を求めることができることを理解する。
5	1. 正負の数	・正の数,負の数の必要性に気づき,正の数,負の数の性質や関係を調べることができるようにする。
6	2. 加法と減法	・正の数,負の数の四則計算の意味を理解し,簡単な計算ができるようにする。
7	3. 乗法と除法	・文字を用いることの意義を理解し,数量の関係や法則を式に表現したり,式の意味をよみとったり,大小関係を不等式を用いて表したりことができるようにする。
8	4. 正負の数の利用	・文字を用いた式における乗法,除法の表し方を知り,式を簡潔に表現する。
9	1. 文字を使った式	・簡単な1次式の加法と減法の計算や1次式と数の乗法,除法の計算ができるようにする。
10	2. 文字式の計算	・方程式及びそのなかの文字や解の意味を調べることができるようにする。
10	3. 文字式の利用	・等式の性質を見いだし,それにもとづいて方程式を変形して解くことができる。
11	1. 方程式とその解き方	・簡単な方程式を能率よく解くことができるようにする。
12	2. 1次方程式の利用	・簡単な比例式を利用することができるようにする。方程式を利用して,問題を解決することができるようにする。
1	【2学期】	・関数関係の意味を理解すること
2	1. 関数と比例,反比例	・比例,反比例の意味を理解し,事象の中にある比例,反比例の関係を見いだすことができるようにする。
3	2. 比例の性質と調べ方	・表,式,グラフを用いて,比例,反比例を表したり,その特徴を調べたりすることができるようにする。
4	3. 反比例の性質と調べ方	・具体的な事象の考察に,比例,反比例の見方や考え方を活用することができるようにする。
5	4. 比例と反比例の利用	・線対称,点対称,平行移動,対称移動,回転移動の意味を理解し,平面図形を対称性に着目して調べることができるようにする。
6	1. 図形の移動	・角の二等分線などの基本的な作図の方法を理解し,作図できるようにする。
7	2. 基本の作図	・おうぎ形の中心角の意味や,弧の長さ・面積が中心角に比例することを理解できるようにする。
8	3. おうぎ形	・空間における直線や平面の位置関係を調べることができるようにする。
9	1. いろいろな立体	・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されていると捉えたり,投影図などによる平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりできるようにする。
10	2. 立体の見方と調べ方	・図形の計量をすることができるようにする。
11	3. 立体の体積と表面積	・基本的な柱体,錐体,球の表面積と体積を求められるようにする。
12	1. データの整理と分析	・ヒストグラムで表すと,分布の様子がとらえやすくなることを理解できるようにする。
1	2. データの活用	・問題を解決するために資料を収集して整理し,傾向を捉え説明できるようにする。
2	3. ことがらの起こりやすさ	・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解する。
3		・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして,不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り,説明することができる。
《評価の観点》 ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力や的確に表現する力などを身に付けている。 ・数学的活動の楽しさやよさを実感し,数学を生活や学習に生かそうとしている。 《評価の方法》 授業中の学習活動,定期考査,小テスト,単元テスト,提出課題の内容と提出状況		

第1学年 教科【理科】 シラバス

○学習目標・自然についての理解を深め、自然を調べるための基本的な技能を身に付ける。 ・観察や実験を通して、科学的に探究する力をつける。 ・自然を科学的に探求しようとする態度を身に付ける。		
○学習の進め方と学習内容・学習のポイント [学校]・思考力、判断力、表現力は授業で育ちます。（仮説を立てる・検証方法を考える・結果を分析する など） [家庭]・ワークを計3回はやりましょう（習った日、週末、テスト前）。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	1. いろいろな生物とその共通点 1章 生物の観察と分類のしかた	・いろいろな生物の観察方法を身に付ける。 ・花の構造について学習する。
5	2章 植物の分類 3章 動物の分類	・花が咲く植物と花が咲かない植物について学習する。 ・植物には構造上の共通点があることを知り、分類表を作る。 ・動物の分類について学習する。
6	2. 身のまわりの物質 1章 身のまわりの物質とその性質	・物質は密度で区別できることを学習する。 ・生活経験から、物質を調べる方法を学習する。
7	2章 気体の性質 3章 水溶液の性質	・ガスバーナーを安全に使用できる方法を学習する。 ・様々な気体の発生・捕集方法、性質を実験により学習する。
9		・水溶液から溶質を取り出す方法やろ過の操作を身に付ける。 ・ピペットを使い、少量の液体を取り出す。
	4章 物質の姿と状態変化	・沸点や融点の記録を基に、物質識別をする。 ・実験においてデータを記録し、処理する技法を身に付ける学習する。 ・物質が状態変化するときの体積や質量の変化を調べる学習をする。
10	3. 身のまわりの現象 1章 光の世界 2章 音の世界	・実験道具の名称や使い方、注意事項を学習する。 ・光の反射や屈折の実験を行い、光の性質について学習する。 ・凸レンズによる実像、虚像のでき方を学習する。 ・音が物体の振動によって生じることを学習する。
11	3章 力の世界	・音の大小や高低と物体の振動の関係を学習する。 ・身の周りの力に関係がある現象を学習する。 ・力の表し方について理解し、矢印で力を表現する。 ・二力のつり合いについて学習する。
12	4. 大地の変化 1章 火をふく大地 2章 動き続ける大地 3章 地層から読みとる大地の変化	・自然の恵みや、火山・地震災害について学習する。 ・マグマの粘性で、火山の形や様子の違いを学習する。 ・火山岩と深成岩を比較し、組織の特徴を学習する。 ・火山の色や火山灰の色と鉱物との関係を学習する。 ・マグマの粘性で、火山の形や様子の違いを学習する。 ・火山岩と深成岩を比較し、組織の特徴を学習する。 ・地震の体験やニュース等に興味や関心を持ち、震度分布図の書き方や地震波の伝わり方を学習する。 ・日本列島の地下における地震発生の原因を、プレートの動きと関連付けて学習する。
1		・自然の恵みと火山・地震災害について学習する。
2		・岩石の風化、地層の重なり方の規則性を学習する。
3		・野外観察を行うための注意点や環境保全の心得を身に付ける。 ・柱状図の見方を学習する。 ・特徴的な地層や化石から、地層のできた年代や場所を推定する。
《評価の観点》・自然について理解し、観察・実験の操作や記録などの技能を身に付けている。 ・問題を見だし、観察・実験などを行い、その結果を分析して表現できる。 ・自然に進んで関り、科学的に探求しようとしている。		
《評価の方法》・実験レポート、授業の活動の様子、ノート、定期テスト、小テスト、ワークなど		

- 学習目標 ・自分自身のことや体験したことをについて英語で伝えたり, 質問したりする。
 ・英文のルールに従って, 自分自身のことや体験したことを3文以上の英文で書く。
 ・身近なことや海外の文化についての英文を, 聞いたり読んだりして主な内容をつかむ。

○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント

- [学校] ・学習した英語を活用し, 先生や ALT, 友達とやりとりしてみよう。
 ・話をしっかり聞いて, 学習内容をきちんと理解し, 家庭学習につなげよう。
 [家庭] ・予習: 単語と本文をノートに書いて, 意味調べをしておこう。
 ・復習: 学習したところの音読, 単語練習をし, ワークで理解を深めよう。

月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	【1学期】 Unit 0 Welcome to Junior High School Unit 1 New School, New Friends	・自分がふだんよくすることや, できることを伝える。
5	Unit 2 Our New Teacher	・身近な人やものについて紹介したり, 尋ねたりする。
6	Unit 3 Club Activities Unit 4 Friends in New Zealand	・いつ・どこなのかを尋ねたり, 数を尋ねたりする。 ・相手に指示したり, 時刻や好きなものを尋ねたりする。
7	Unit 5 A Japanese Summer Festival	・行った場所や, そこで楽しんだことなどについて話す。
8	Stage Activity 1 “All about Me”	・自分の好きなことについて, つながりのある文章を書く。
9	Poster Unit 6 A Speech about My Brother	・自分と相手以外の人やものなどについて, 尋ねたり伝えたりする。
10	【2学期】 Let's Talk 1 お願い Unit 7 Foreign Artists in Japan Let's Talk 2 体調 Let's Listen 1 留学生のプロフィール	・身近な人に許可を求めたり, 依頼したりする。 ・自分と相手以外の人について話したり, どちらなのか, だれのものかを尋ねたりする。 ・相手の体調について尋ねたり, 自分の体の不調について説明したりする。 ・人に関する紹介を聞いて, 基本情報やその人がどのような人かを理解する。
11	Unit 8 A Surprise Party Let's Write 1 お祝い	・今していることについて説明したり, 尋ねたりする。 ・目的に合わせたカードを書く。
12	Unit 9 Think Globally, Act Locally Let's Talk 道案内 Let's Listen 2 欠席した友達への電話連絡	・したいことや, する必要のあることなどについて説明したり, 尋ねたりする。 ・徒歩での道順を尋ねたり, 教えたりする。 ・友達にあとで伝えるべき情報を聞き取る。
1	Stage Activity 2 My Hero	・好きな有名人やあこがれの人について尋ねたり, 説明したりする。
2	Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji	・図や表などの情報を参考に, 書き手の考えを読み取る。
	Unit 10 Winter Vacation Let's Write 2 旅先からの便り	・過去の出来事について説明したり, 尋ねたりする ・旅先からの絵はがきを書く。
3	Unit 11 This Year's Memories Let's Talk 4 レストラン Let's Listen 3 ラジオ DJ のトーク	・過去の状態や気持ち, 過去のある時点にしていたことについて説明する。 ・レストランなどで, 注文をしたり質問に答えたりする。 ・休暇の思い出など日常的な話を聞いて, 主な内容を聞き取る。
	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year Let's Read 2 City Lights	・思い出に残った学校行事について発表する。 ・物語を読んで, 場面の変化や登場人物の心情などを理解する。

《評価の観点》

- ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどを理解し, 実際のコミュニケーションにおいて活用できる。
- ・日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり, これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
- ・文化に対する理解を深め, 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

《評価の方法》 定期テスト, パフォーマンステスト, 単語テスト, 課題の取組, 授業中の観察など

第1学年 教科【音楽】

○ 学習目標		
・音楽活動を体験することを通して、音楽への興味・関心を養い、音楽を愛好する心情を育てる。		
・音楽に対する感性を豊かにし、表現する力と広く親しんでいこうとする態度を身に付ける。		
○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント		
【学校】・授業を大切にし、曲の表情に自分の思いを乗せて表現できるようにする。		
・音楽のもつ豊かな表現を感じ、しっかりとまとめられるようにする。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	【1学期】 オリエンテーション 校歌を覚えよう。(歌唱)「山田中学校校歌」	・音楽の1年間の授業について説明を聞く。 ・範唱を聴き曲の感じを捉え、正しいリズムと音程を覚える。
5	歌詞を味わいながら合唱しよう。(歌唱)	・言葉の発音に気を付けて曲全体を歌詞唱する。
6	合唱祭課題曲及び自由曲	
7		
8	情景と音楽との関わりを感じ取って聴こう。 (鑑賞)「四季」より“春”	・「春」の第一楽章を聴き、弦楽合奏の楽器について知り、どんな情景を表しているのかを考える。
9		・楽曲の概要や作曲者について理解する。
10	【2学期】 イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。 (鑑賞)映画音楽「ジョーズ」「E.T」	・映画のあらすじと、教材曲が演奏されるシーンについて知る。
11	詩の内容と曲想の変化を感じ取っての関わりを感じ取ろう。(鑑賞)「魔王」	・教材曲がもたらすイメージとその根拠について音楽の要素と関連づけて理解する。
		・作曲者や作品について理解する。
		・詩を読み、あらすじを理解し、それぞれの役でどんな歌い方をしているか、違いを聴き取る。
12	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう。(創作)	・音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。
		・反復、変化等の創意工夫を生かした表現でリズムを組み合わせ、表したいイメージを創作で表す。
1	日本の音楽に親しもう。(鑑賞)(器楽) 雅楽「平調 越天楽」箏曲「六段の調」 箏曲「さくらさくら」	・箏曲「六段の調」尺八曲「巢鶴鈴慕」の冒頭の部分を聴き、どんな楽器で演奏しているのかを確認する。
		・箏や尺八の特徴や奏法、音色について理解する。
		・箏を実際に演奏する。・日本の歌曲に親しみ、表現する。
2	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう。(鑑賞)	・音楽の特徴とその背景となる文化とその歴史との関わりを理解する。
3	日本の民謡 アジアの諸民族の音楽	・音色やリズム等の音楽の特徴や雰囲気を感じ、生活や社会における音楽の意味や役割について考える。
	歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう。(歌唱) 「早春賦」「浜辺の歌」 卒業式在校生合唱曲 「My Own Road」	・歌詞の内容、旋律の動きや強弱との結びつきを意識しながら、曲想表現する。
		・旋律の特徴、強弱、曲の特徴を理解し、工夫して歌う。
《評価の観点》		
・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりや、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。		
・音楽を形づくっている要素やそれらが生み出す特質や雰囲気について感じ取り、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって演奏したり、聴いたりしている。		
・音や音楽、音楽文化に親しみ、音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組んでいる。		
《評価の方法》・授業の様子 ・音楽活動での協力の仕方とまとめ方 ・提出物の提出状況や内容		
・実技発表会(授業、行事等)での演奏 ・鑑賞での感想、まとめ方		

第1学年 教科【美術】

○ 学習目標		
・楽しく美術に親しみ、表現を工夫したり見方・感じ方を広げたりして、学習活動に取り組む。 ・自然の造形や美術作品のよさや美しさを感じとり、表現活動に生かす技能を身につける。		
○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント		
〔学校〕 ・自ら学ぶ意欲をもち、授業中の活動・課題に積極的に取り組むこと。 ・制作の手順、ポイントなどをしっかりと理解し、丁寧にに取り組むこと。 〔家庭〕 ・日頃から、美術的な分野に関心を持ち、感受性、想像力を高める。 ・ポスターの制作など、家庭での課題に積極的かつ丁寧に取り組む。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	【1学期】 オリエンテーション 「美術との出会い」	・美術や制作に向き合うことについての理解を深める。
5	デザイン・工芸 「暮らしに息づく土の造形」	・焼き物(平清水焼き)を制作し、人々の生活と工芸について学ぶ。
6	デザイン 「文字っておもしろい」(文字の基本) 鑑賞	・明朝体やゴシック体などの書体と造形性を理解する。 ・レタリングの基本と技能を身に付ける。 ・文字の美しさを感じ取ろうとする。
7	絵・デザイン 「色彩の基本・仕組み」(色彩学)	・色彩の特性や配色など、色彩学の基本について理解する。
8	鑑賞	・水彩の三原色を基本に使い、平塗り技法、混色と重色など基本的な彩色技法について学ぶ。
9	デザイン・絵 ◎夏休み課題(文化学習発表会ポスター・コンクール作品公募への希望出品)	・文化学習発表会のポスター制作をし、作品発表展示をする。
10	【2学期】 絵・彫刻	・身近なものや愛着のあるものを見つめ、感じとった形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫する。
11	「見つめると見えてくるもの」 「じっくり見ると見えてくる」	・材料を見る角度や組み合わせ方を工夫して、楽しい作品になるように構想を練る。
12	鑑賞	・粘土や絵の具の特徴を生かして、形成、彩色等を工夫する。
1	絵・デザイン	・作品のよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫を味わう。
2	「さまざまな技法で描く」 鑑賞	・画材の種類や技法とその効果について知る。 ・技法を生かした小作品の制作・構成をする。
3	鑑賞「鑑賞との出会い」 「見方や感じ方を広げよう」	・作品のよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫を味わう。 ・名画を鑑賞し、作品への知識と理解を高める。
《評価の観点》		
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。意図に応じて表現方法を工夫して表している。 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		
《評価の方法》		
・学習活動への取り組みの様子、作品制作の内容、発言の内容、制作カード・ワークシートの記述・内容		

第1学年 教科【保健体育】

○ 学習目標 ・健康や安全に留意しながら運動に取り組む。 ・自分の力に応じた課題を設定し、仲間と協力しながら課題解決に向けて活動する。		
○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント [学校] ・自他の安全に十分留意し、積極的に活動しよう。 ・授業での説明や注意事項をしっかりと聞き、正しい運動技能や知識を身に付けよう。 [家庭] ・体力の向上に努めよう。(運動する習慣, 規則正しい生活) ・教科書, 学習ノートを利用し, 予習・復習をしよう。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	・集団行動	・自分の体に関心を持ち, 体の調子を整えたり, 体力を高めたりする運動を行う。
5	・体づくり運動	
5	・新体力テスト	
5	・球技(ネット型)	・基本的な個人技能を身に付け, ルールを理解する。
6	バドミントン	
6	・体育理論	・運動やスポーツの多様性について理解を深める。
7	・水泳	・クロール, 平泳ぎの基本的な技能を身に付ける。
8	※ 9月中旬までは天候等により, 保健と並行して行います。	
9	・保健分野(心身の機能の発達と心の健康)	・体のしくみや, 発達の仕方について理解を深める。
10	・水泳	・自分の能力に適した課題を設定し活動する。
11	・陸上競技(リレー)	
11	・スポレク練習	
11	・器械運動(マット運動)	・自分の記録への挑戦や, 仲間との競争を楽しむ。
12	・武道(柔道)	
12	・球技(ゴール型)	・礼儀作法や相手を尊重する態度を重視するとともに, 基本的な技を身に付ける。
1	サッカー	
1	・保健分野(健康な生活と疾病の予防)	・基本的な個人的技能を身に付け, 協力して練習やゲームを行う。
2		
2	・ダンス	・健康を保持増進するための知識を学び, 実践する力を身に付ける。
3		
3		・基本のステップなどを身に付け, 仲間と一緒に踊る楽しさや喜びを味わう。
《評価の観点》 ・運動や健康・安全について理解し, 運動の特性に応じた, 基本的な技能を身に付けている。 ・課題を見つけ, 取組や解決の仕方を工夫し, それらを他者に伝えている。 ・運動の楽しさや喜びを味わえる実践と, 自他の健康についての学習に, 自主的に取り組もうとしている。 《評価の方法》 授業態度(授業への取組), 実技テスト, 定期テスト, 学習カード など		

第1学年【技術】

○学習目標〔題材：材料に関する技術〕

- ・木材での製作を通して、木材の特性、木工具のしくみと加工方法を理解することができる。
- ・適切に工具を使い、安全に注意して作品を仕上げることができる。
- ・ものづくりの技術を生活にいかす態度を身に付ける。

○学習の進め方と学習内容・学習のポイント

〔学校〕

- ・話をしっかり聞き、よく理解し、自分の学習に活かしていこう。
- ・工具を正しく使用し、後片付けもきちんと行おう。

〔家庭〕

- ・予習：教科書を前もって読んでおこう。
- ・復習：学習したことを振り返り、身の回りのものに目を向けていこう。

月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	【1学期】 『生活や社会における技術の役割』	・3年間で学習する内容を確認する。
5	・技術分野で学ぶ内容	・身の回りの技術について考える。
6	『社会の中で利用されているものづくりの技術』 ・さまざまな材料	・木材・金属・プラスチックの性質や特徴について知る。
7	・材料の特徴 ・設計 ・製図	・製図方法を知り、自分の作りたいものについて考える。
8	『木材を用いた作品の製作』 ・製作の進め方	・工具の正しい使い方を知る。
9	・部品表と工程表	・板材料を設計に基づき切断する。
10	・けがき ・材料取り、切断	・糸のこやベルトサンダーなどを安全に利用する。
11	【2学期】 『材料に関する技術のまとめ』	・材料と社会・環境との関わりについて考える。
12	『情報とわたしたちの生活』 ・情報に関する技術とその役割 『情報通信ネットワークと情報処理』 ・情報を処理するしくみ ・ネットワークの構成	・コンピュータでどんなことができるか調べる。 ・ネットワーク上でどのようなしくみで情報を伝えているのかを知る。 ・情報を処理するしくみについて知る。
1	『情報セキュリティと情報モラル』 ・情報セキュリティ ・利用するときのモラル	・ネットワークを使う上で、危険性やセキュリティ、モラルや情報に関するルールについて知る。
2	『デジタル作品の設計と制作』 ・情報の収集と加工 ・作品の制作・発表	・エクセルや画像処理ソフトの使い方を知り、作成することで情報を正確にわかりやすく伝えることができるようになる。
3		
《評価の観点》 ・学習活動に積極的に取り組み、生活と身の回りの技術の関わりを理解しようとしている。 ・情報モラル等の諸問題を解決するための方法を構想し、言語化して表現することができる。 ・木材加工に扱う工具の名称や正しい扱い方を理解し、技能の向上に努めている。		
《評価の方法》 作品、作業・操作の様子、定期テスト、レポート、プリントなど		

第1学年【家庭】

○学習目標〔題材 家族・家庭生活 衣食住の生活 消費生活・環境〕

- ・家庭の役割を理解し、自分にできることを考え行動することができる。
- ・衣服を選択するときのポイントを理解し、簡単な補修・手入れができる。
- ・よりよく暮らすための住まい方の工夫を考えることができる。
- ・消費者としての基本的な事項を身に付け、環境に配慮した消費行動を実践しようとする。

○学習の進め方と学習内容・学習のポイント

〔学校〕

- ・授業を聞いて、ノートをまとめよう。
- ・生活を振り返る場面では、家庭でのことを思い出したり、自分の考えを言葉にしよう。
- ・周囲の意見と比較し、視野を広げよう。
- ・用具・ミシンなどを正しく安全に使い、周囲と協力して活動しよう。

〔家庭〕

- ・学習したことを活用し、課題に取り組もう。
- ・テスト前は、授業で学習したことを中心に復習しよう。

月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
	【1学期】	
4	○家庭分野ガイダンス A-1 自分の成長と家族・家庭生活 B衣-1 目的に応じた衣服の選択	・小学校の振り返りと中学校での学習に見通しを持つ。 ・自分の成長と周囲のかかわりや家族・家庭の役割について考えを深める。 ・衣服のはたらきを知る。 ・自分らしい着方を考える。 ・洋服と和服の違いを知る。
5	B衣-2 日常着の手入れと保管	・既製服を選ぶポイントがわかる。 ・衣服の素材に適した手入れの方法がわかる。
7	④補修や収納・保管 小テスト	・衣服の傷み具合に合わせた方法で補修ができる。
8	<u>夏休み課題:</u>	
9	B衣-3 生活を豊かにするものの製作 まつり縫いのテスト エプロンを作ろう	・まつり縫いに挑戦する。 ・布や用具を正しく扱い、意欲的に製作を進めることができる。 ・まつり縫いの習得とミシン縫いの復習をする。
	【2学期】	
10	B住-1 住まいのはたらきとこちよさ	・住まいの基本的な役割について考えを深める。 ・心地よく住むために必要なポイントを知る。
11	B住-2 安全な住まいで安心な暮らし 小テスト <u>冬休み課題:</u>	・家庭内事故の種類とその原因を知り、対策を考える。 ・災害に備えて屋内を安全に整備する必要とその方法を知る。
12	C-1 家庭生活と消費 C-2 購入支払いと生活情報 C-3 消費者被害と消費者の自立	・消費生活の仕組みがわかる。 ・販売方法の特徴と売買契約のしくみがわかる。 ・消費者被害の種類と予防対策を考える。 ・消費者の権利と責任を理解し、具体的な実践方法を考える。
1		
2		
3	C-4 持続可能な社会	・自分にでいる環境に配慮した生活を考える。

《評価の観点》

- ・生活に生かすことができる基本的な知識・技能を身に付けている。
- ・家庭生活の中で課題を見つけ、解決策を考え実践、評価するなどして、自分の考えを表現できる。
- ・主体的に生活を工夫しようと考え、実践しようとしている。

《評価の方法》

作品、ワーク、学習の足跡、定期テスト、取り組みの様子 など

第1学年 教科【道徳】

【学習目標】

- 1 中学生としての自覚を深め、自律の精神を重んじ、協力してよい校風を樹立するように努める。
- 2 より高い目標を立て、希望と勇気をもって着実にやりぬく強い意志をもつようにする。
- 3 温かい人間愛の精神を深めるとともに、謙虚に他に学ぶ広い心をもつようにする。
- 4 生命に対する畏敬の念を深め、自然を愛し、人間として強く生きること喜びを見いだすようにする。
- 5 社会への奉仕の気持ちを深め、公共の福祉と差別や偏見のない社会の実現に努めるようにする。
- 6 日本人としての自覚をもって国を愛するとともに、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする。

月	教材名	学習のポイント(ねらい)
4	1 朝市の『おはようございます』	相手の人格を認め、相手に対して尊敬や感謝などの気持ちを具体的に示すことの意義を理解し、進んで礼儀を身に付けようとする心情を育てる。
	2 選手に選ばれて	権利と義務の関係を多面的・多角的に捉え、集団の一員であることを自覚し、自分の考えを正しく主張するとともに主体的に義務を果たそうとする心情を育てる。
	3 自分の性格が大嫌い	自分の持っているよさや個性の発見に努め、肯定的に捉え、伸ばしていこうとする意欲を育てる。
5	4-1 いじめに当たるのはどれだろう	いじめに当たる行為や判断の根拠について考えることを通して、人にはいろいろな見方や考え方があることを理解し、相手の立場や個性を尊重しようとする態度を育てる。
	4-2 傍観者でいいのか	傍観者の視点から「いじめ」について考えることを通して、人間の弱さを克服し、自らの意志や判断で責任ある行動をしようとする態度を育てる。
	4-3 ふたつの心	いじめに関係する人物やその周囲の人の心情を考えることを通して、物事をさまざまな角度から総合的に考察し、そこに内在する道徳的諸価値を見極めようとする意欲や態度を育てる。
6	5-1 山に来る資格がない	節度と節制に心がけ、望ましい生活習慣を進んで身に付けようとする心情を育てる。
	5-2 もし、あのときにもどれるのなら	先生に、寝る時間を遅くしたいと言う理由を考えている5人を説得する場面を役割演技することを通して、節度と節制に心掛け、望ましい生活習慣を進んで身に付けようとする態度を育てる。
	6 班での出来事	異性への理解を深め、互いの個性を尊重し、ともに成長することのできる深い友情を構築していこうとする態度を育てる。
	7 新しいプライド	勤労の尊さや意義を理解し、社会に貢献しようとする態度を育てる。
7	8 楽寿号に乗って	ボランティア活動の意義を理解し、進んで人々のために尽くそうとする意欲や態度を育てる。
	9 ばくちのふるさと	郷土意識を深め、進んで地域の発展に努めようとする態度を育てる。
9	10-1 あなたはひかり	自分自身の「いのち」について多面的・多角的に考え、「いのち」の大切さを自覚し、前向きに生きようとする態度を育てる。
	10-2 いのちって何だろう	「いのちって何だろう」という作者の問いについて考え、「いのち」とは何か、その尊さを守るためにどのように考えていくかについて理解を深め、「いのち」を大切にしようとする心情を育てる。
	10-3 決断! 骨髄バンク移植第一号	悩みながらも自分の骨髄を提供した田中さんの姿から、人が互いに支え合って生きていくことの大切さを理解し、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。
	11 郷土を彫る	郷土の伝統を大切にし、郷土に尽くした先人に尊敬の念を深め、郷土の発展に努めようとする態度を育てる。
10	12 ごみ箱をもっと増やして	公德心について理解を深め、誰もが気持ちよく生活できるよりよい社会の実現のために努めようとする態度を育てる。
	13 全校一を目指して	集団の一員としての役割と責任の自覚を深め、協力し合って集団生活の向上に努めようとする意欲と態度を育てる。
	14 『看護する』仕事	働くことの喜びは生きがいとなることを理解し、自分の将来の生き方について考えを深めようとする態度を育てる。
	15-1 その人が本当に望んでいること	相手の立場や気持ちを考え、思いやりを持って接しようとする意欲を育てる。
11	15-2 思いやりの日々	障害を持つ人と関わった主人公の気持ちを考えることを通して、本当の思いやりとは何かを理解し、温かい人間愛を深め、誰に対しても思いやりの心を持って共に生きようとする心情を育てる。
	16 靴	家族の一員として果たすべき役割や責任を理解し、より充実した家庭生活を築こうとする意欲や態度を育てる。
	17 席替え	公正さを重んじることの大切さを理解し、公正、公平な行動を心がけようとする意欲を育てる。
	17-2 くじ引きの後の場面をやってみよう	くじ引きの場面の役割演技を通して、公正な判断のもとに主体的に行動しようとする意欲や態度を育てる。
12	18 銀色のシャープペンシル	弱さを乗り越えて人間としてよりよく生きていこうとする態度を育てる。
	19 風を感じてー村上清加のチャレンジ	目標に向けて強い意志を持ち、前向きに努力していこうとする心情を育てる。
1	20 『どうせ無理』という言葉に負けない	自分の可能性を追求し、真理を探究し続けようとする意欲を育てる。
	21 短文投稿サイトに友達への愚口を書くと	悩みや葛藤とともに乗り越え、友情を深めていくことの大切さに気づき、互いに励まし合い、心から信頼しようとする心情を育てる。
	22 山岳民族の文化を守る	国際社会の一員としての日本人の自覚を持ち、他国の文化や伝統を尊重し、世界平和や人類の発展に貢献しようとする心情を育てる。
2	23 本が泣いています	公共の精神についての理解を深め、よりよい社会の実現に努めようとする意欲を育てる。
	24 火の島	自然の偉大さに感動し、人間の力を超えた自然の力への畏敬の念を深めようとする心情を育てる。
	25 落語が教えてくれること	いろいろな見方や考え方があることを理解し、個性や立場を尊重しようとする心情を育てる。
	26 花に寄せて	困難や障がい乗り越え、人間としての誇りを持って、よりよく生きていこうとする態度を育てる。
3	27 桜に集う人の思い	自然環境を大切にしようとする心情を深め、進んで自然の愛護に努める態度を育てる。
	28 古都の都、菓子的心	優れた伝統や文化を育んできた先人たちの努力や精神を理解し、それを継承し発展させていこうとする心情を育てる。

《評価の方法》授業中の学習活動、ワークシート